



未来の世界平和のために

富山県立伏木高等学校 2年 山崎 美玲

ユネスコ憲章の前文に、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中にとりでを築かなければならない」という言葉があります。これは、全ての紛争は人災で、その原因は人の心の中にあり、さらに解決する方法も個人の心から見いだされるという憲章です。

私が国連事務総長になったら、まず1つ目は、食糧問題に取り組みます。紛争の原因は、人々の不満が大きく関係しています。今、世界の飢餓人口は約7億9,500万人いると言われ、総人口の9人に1人が飢餓で苦しんでいるそうです。だから私は、生命の維持に必要な食糧問題の解決が、紛争をなくすために大事なことではないかと思えます。

世界では、急速に人口増加が進んで、飢餓問題は深刻になっていて、1日に4万人から5万人の人々が亡くなっています。そして、そのうちの約7割が子どもたちです。しかしこの問題は、食物が足りないから起きているわけではありません。なぜかという、毎年世界では約23億トンの穀物が生産されていて、もしこれが世界に住む72億人に平等に分けることができれば、一人当たり約年間に320キログラム以上も食べられることになるからです。

そしたら、なぜ飢餓人口が減らないのか疑問に思えます。その原因を調べてみると、発展途上国の教育が普及していないことと、十分な収入が得られていないなどの問題や、食糧を運搬する技術の国境を越えた協力体制が進んでいないからということが分かりました。私は、すべての人が平等に食糧を得る権利を持っていると思います。各国で協力し、また私たちひとりひとりの意識も変えていかなければなりません。そして私は、経済の格差をなくしていくことにも取り組みます。

2つ目は、紛争をなくすためには、教育にも力を入れます。2014年にノーベル平和賞を史上最年少で受賞したマララ・ユスフザイさんの国連での演説にあった「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン。これで世界を変えられます。教育こそがただ1つの解決策です。」という言葉が、私の心の中に残っています。また調べていくと、「基礎的な読解力があれば、約1億7,100万人が貧困から脱却できる」・「学校教育を1年多く受けるごとに、若者が紛争に関わる可能性が20パーセント減少する」という2つのデータにもきになりました。教育を十分に受けることができれば、人は人間的にも人格的にも成長し、すべての国家、人種、宗教団体の間でお互いに理解しあい、友好な関係を築けるのではないかと思います。そして、国際化が進む現代で人々が共に安心して生きていくためには、お互いに尊重しあうための知識と能力を身につけることが、とても大切だと思います。

さらに私は、暴力や武力を使わずに紛争を解決することを教育します。そしてその教育の費用は、各国の軍事費より出してもらいます。軍事費の割合が高い国は、軍事的な緊張度も高いので実現が難しいかもしれませんが、紛争をなくすために強く訴えていきます。紛争は、一度起こってしまうと解決するまでに大変な労力が必要で、さらに長期化するほど解決が難しくなります。紛争を速く解決することも大事ですが、もっと大事なことは紛争を未然に防ぐことです。私はこのテーマを通じて、平和であることの感謝の気持ちを忘れず、世界中の人々が恵まれた食糧と教育のなかで、紛争のない平和な暮らしができると思います。